

城北中央公園調節池（二期）工事における 掘削土砂中のアスベスト含有建材片の確認と今後の対応について

都が整備を進めている城北中央公園調節池（二期）工事において、掘削した土砂約 1,200 m³の中から少量（約 0.002 m³）のアスベスト※¹含有建材片の混入を確認したため、お知らせします。

確認された建材片はスレート材※²で、非飛散性アスベストを含むものです。現在、掘削土砂等をシートで覆い、飛散防止対策を講じています。また、現場周辺では大気中のアスベスト濃度を定期的に測定しており、これまでの測定結果はいずれも検出下限値以下です。

今後は、調節池整備箇所全体におけるアスベスト含有建材片の混入状況を調査するとともに、確認された建材片や土砂の処分を予定しており、引き続き適切に対応してまいります。

○次ページ以降詳細な説明を掲載しています。

※1 アスベストの一般的な情報については、次の東京都環境局のホームページをご覧ください。
<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/inquiry/faq/air/asbestos>

※2 スレート材について

石綿含有のスレートは、セメントを主原料とし、補強繊維のアスベスト、若干の混和材料及び適量の水を加え、抄造（紙すきと同じ原理で製造）して板状に成形した後、所定の含水率になるまで乾燥させたものです。

（出典：建築物の解体等に係る石綿（アスベスト）飛散防止対策マニュアル（東京都環境局））

目次

- 1 経緯
- 2 地中レーダー探査の概要
- 3 溝掘り箇所のアスベスト混入状況調査の概要
- 4 大気中のアスベスト濃度測定結果
- 5 今後の対応について

1 経緯

城北中央公園調節池（二期）工事は令和7年6月に現場着手し、防音壁の設置や施工ヤードの整地を進めてきました。その後、調節池本体の掘削に先立ち、掘削予定箇所の周囲に山留め用の鋼矢板を設置するため、深さ約1mの溝掘りを開始しました。

この溝掘りで発生した土砂にコンクリート殻等が混入していたため、処分に先立ち分別したところ、令和7年11月にアスベスト含有の疑いがある建材片を1個確認しました。検査機関による分析の結果、当該建材片はスレート材で、発じん性が比較的低い非飛散性のアスベストを含むことが判明しました。

これを受け、分別したコンクリート殻にアスベスト含有建材片が含まれていないかを詳細に確認するとともに、調節池整備箇所全体についても調査を実施することとしました。また、溝掘りした土砂、分別したコンクリート殻等の山、溝掘り箇所をシートで覆い、飛散防止対策を講じました。それ以外の地表面にはアスベスト含有建材片は見当たらず、地中に埋められている状態です。さらに、大気中のアスベスト濃度を定期的に測定し、現場周辺の安全性を継続的に確認しています。



溝掘り箇所位置図



土砂に混入していたスレート材



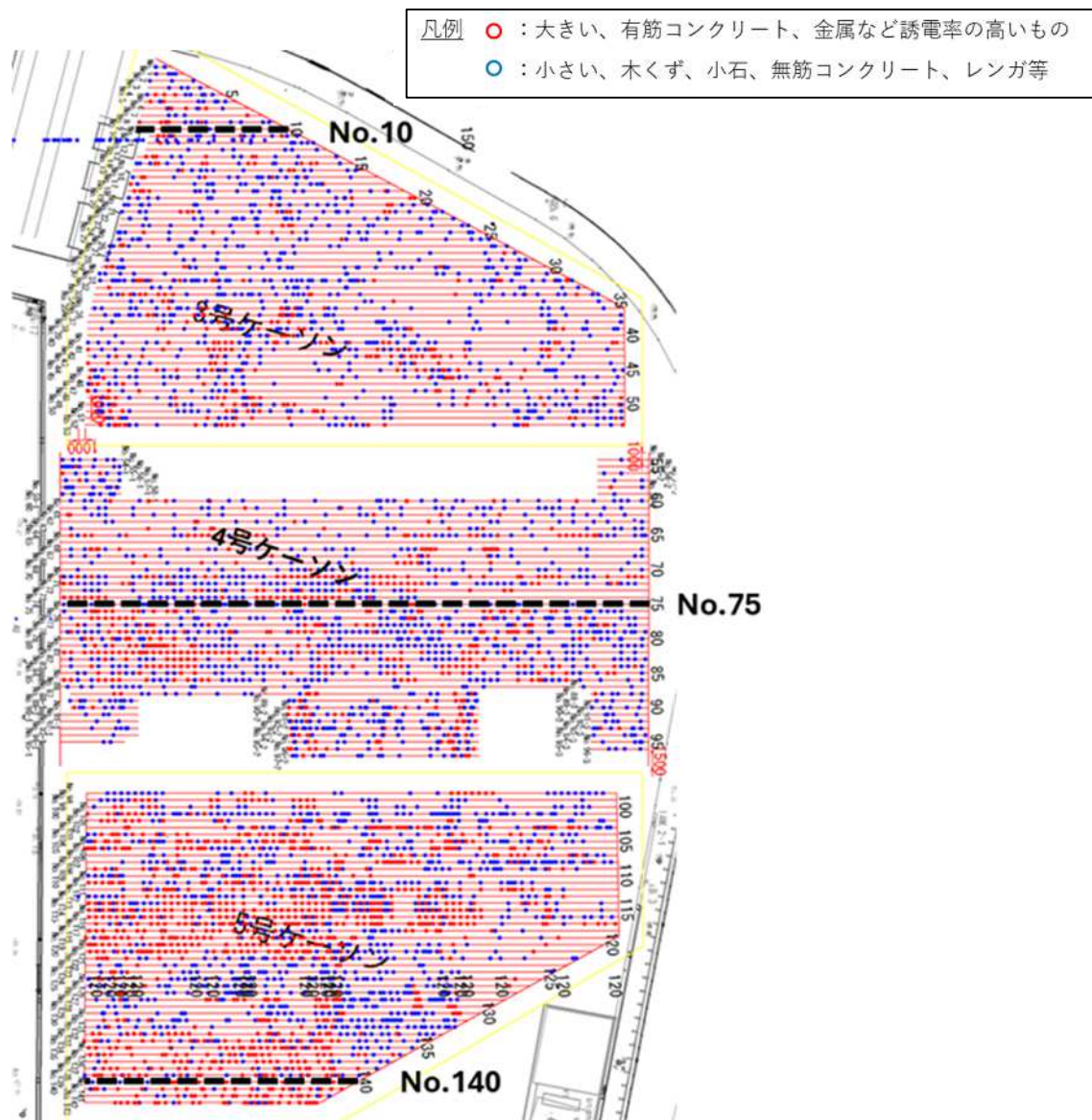
溝掘りした土砂のシート養生



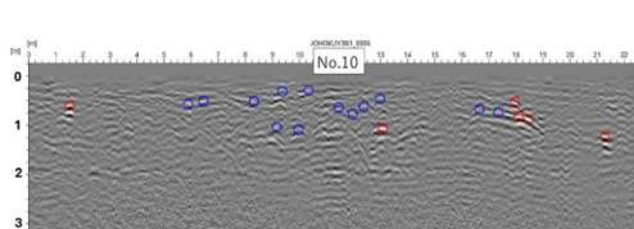
溝掘り箇所のシート養生

2 地中レーダー探査の概要

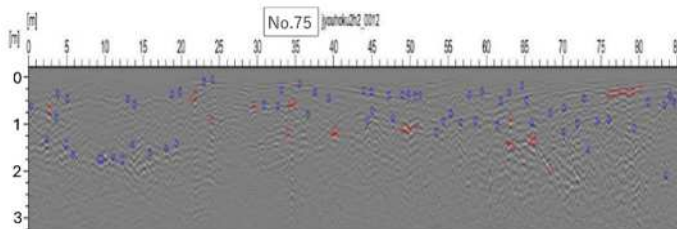
調節池整備箇所全域における地中のコンクリート殻等の土砂以外に含まれる埋設物を確認するため、令和8年1月に地中レーダー探査を実施しました。その結果、全てのケーソン部において、深さ約2 mの広範囲に埋設物（次図の○と●）が存在することを確認しました。



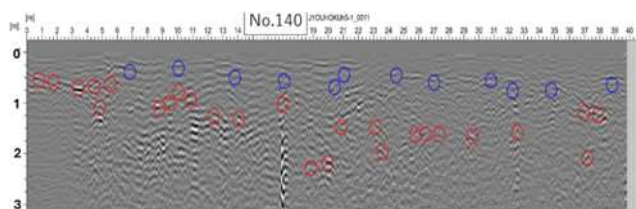
平面分布状況



No.10 部断面分布状況



No.75 部断面分布状況



No.140 部断面分布状況

3 溝掘り箇所のアスベスト混入状況調査の概要

溝掘り箇所の土砂から分別したコンクリート殻等について、テント設置やミスト噴射による飛散防止対策を講じた上で、令和8年3月から4月にかけてアスベスト含有建材片の混入状況を調査しました。その結果、掘削土砂約1,200 m³の中から、非飛散性のアスベストを含む少量のスレート材が67個、約0.002 m³確認されました。



テント設置状況



テント内調査状況



確認されたスレート材（全数）

4 大気中のアスベスト濃度測定結果

令和7年12月から、大気中のアスベスト濃度を定期的に測定しています。測定結果は、こちらのホームページでご覧いただけます。情報は随時更新します。

◆城北中央公園調節池（二期）工事ホームページ

<https://sites.google.com/toda.co.jp/johoku2/home>

5 今後の対応について

溝掘り箇所の土砂の処分について

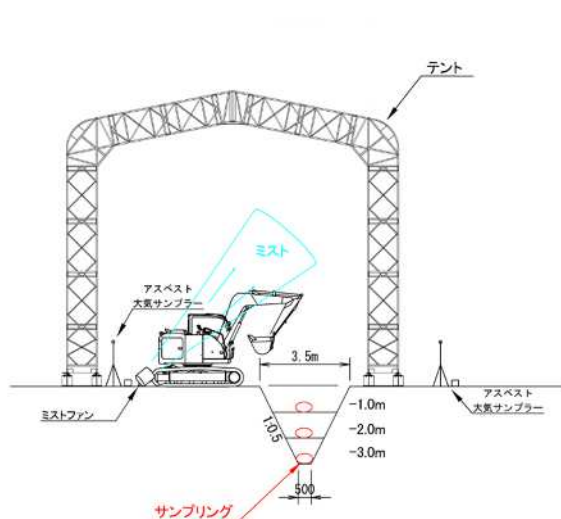
溝掘り箇所の土砂は、大型土のう袋に梱包して運搬車両に積み込む等、石綿含有産業廃棄物として適正に処分します。

調節池整備箇所のアスベスト混入状況調査について

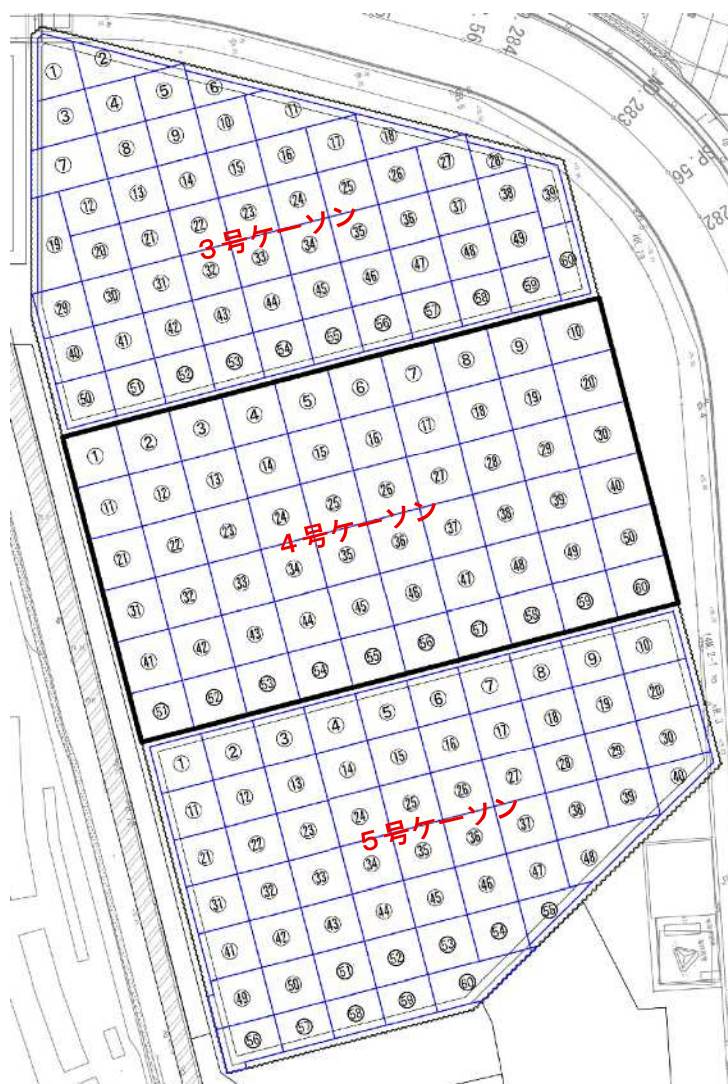
今後掘削を予定している調節池整備箇所では、地中レーダー探査の結果、広範囲に埋設物が確認されたため、JIS 規格「産業廃棄物のサンプリング方法」に基づき、各ケーソンの施工箇所を 60 区画（1 区画当たり概ね 8.0m×7.2m）に分割し、深さ 1 m ごとに試料を採取して、アスベスト含有建材片の有無を確認する調査を行います。

調査に当たっては、テントの設置やミスト噴射により飛散防止を図るとともに、引き続き大気中のアスベスト濃度を測定し、安全性を確認します。

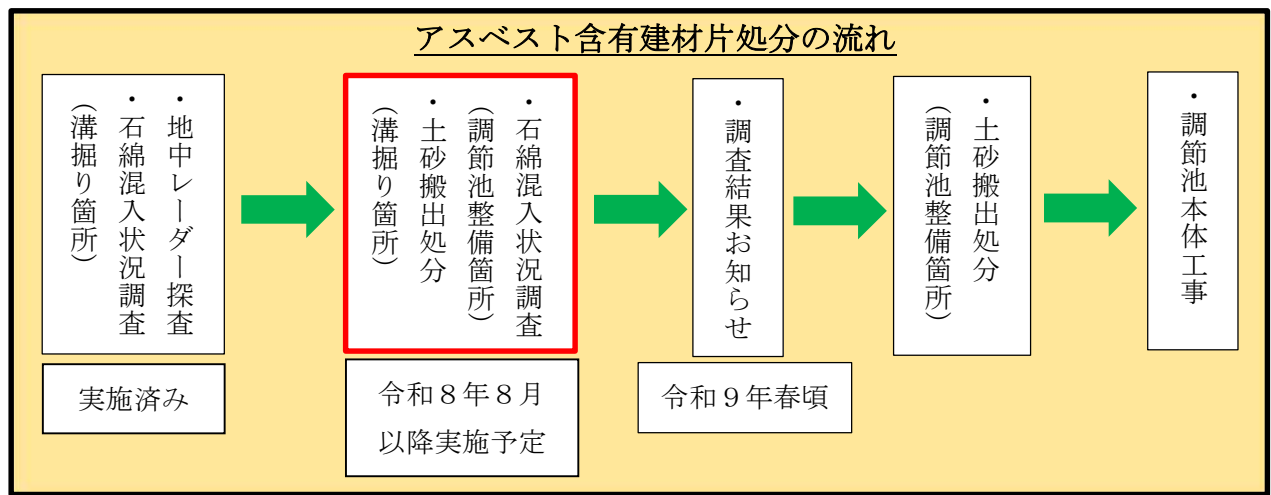
なお、調査の準備作業として、既設舗装の一部撤去や未施工の鋼矢板打設等を地山の土砂が飛散しない安全な工法で実施します。



試料採取イメージ図



区画割付図（各ケーソン 60 区画）



調節池整備箇所全体の調査結果は令和9年春頃にお知らせする予定です。

《工事に関する問い合わせ先》

◆東京都第四建設事務所 工事第二課 調節池工事担当
電話 03-5978-1720

◆東京都第四建設事務所のホームページ

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/yonken/index.html>

◆城北中央公園調節池（二期）工事ホームページ

<https://sites.google.com/toda.co.jp/johoku2/home>